



No. **55**

20.January.2025

日本ホスピス緩和ケア協会

NEWS LETTER ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

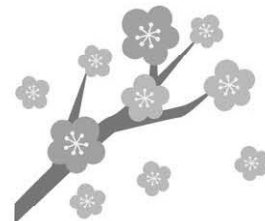
日本ホスピス緩和ケア協会事務局

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1

日野原記念ピースハウス病院内

TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382

Website <https://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org



理事長新春メッセージ



特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 安保 博文

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃より、緩和ケアに尽力いただいている皆さまに
心より感謝申し上げます。

新年にあたり、私たちの医療や社会の課題の本質を
考えるために、ある病院のエピソードをご紹介します。

とある医療法人のベテラン院長は、若い頃から緩和
ケア病棟を立ち上げることを夢見ておられました。
その思いは強く、新婚旅行にイギリスのセントクリ
ストファーホスピスを訪れるほどでした。奥様は今
でもそのことを文句を交じえて語られるそうです。
念願の緩和ケア病棟が完成した後、院長は「最期の
ときに医者として傍らにいて、患者さんとご家族の
辛さをケアすることこそ緩和ケアの醍醐味」と考え、
夜間や休日を問わず患者さんの看取りに立ち会い続
けました。しかし、次世代の院長として赴任された
息子さんは、勤務する医師の負担軽減や病棟全体の
持続可能性を重視し、看取りを当番制にする新たな
運営方針を導入されました。

このエピソードに登場する3名の思いは、多様な価
値観が共存していることを教えてくれます。ベテラ
ン院長の情熱＝個人の思い、チーム運営を重視する
新院長の合理的な運営感覚＝組織の調整、奥様の思
い＝一対一の関係性。この3つの視点は、医療や緩

和ケアにおいてバランスよく考えられるべき重要な
視点です。医療現場に限らず、人間社会の多くの問
題は、この3つのどれかが軽視されるときに生じる
のではないのでしょうか。こうした視点を持ちながら、
当協会では今年、新たな取り組みを開始いたします。

まず、多職種のための専門的緩和ケア教育プログ
ラムであるSPACE-I(Specialized Palliative Care
Education for Interprofessional work)を開始
します。対話を通して多職種の協働を進めるための
セミナーであり、各支部での対面での開催を目指し
ています。

次に、「緩和ケア病棟医師育成・協働推進ワーキン
ググループ(WG)」を立ち上げます。このWGでは、
減少傾向にある緩和ケア病棟医師の育成を支援し、
専門性を発揮しやすい環境づくりを提案してまいり
ます。

次に、超高齢化社会に対応する在宅緩和ケアのあり
方を考える取り組みを進めます。まず、3月にホス
ピス型住宅の課題を議論するシンポジウムを開催す
る予定です。

さらに、患者さん自身の声を基にケアを見直すPRO
(Patient-Reported Outcome)評価システムの導
入を進めます。緩和ケア病棟のケアの質の評価と向
上を図るため、セミナー等を通じてこのシステムへ
の参加を会員施設に呼びかけてまいります。

こうした多角的な取り組みを通じて、協会会員施設
および我が国全体の緩和ケアのさらなる質の向上を
目指していきます。

本年が皆さまにとって実り多い一年となりますよう、
心より祈念申し上げます。

理事会報告

【2024年12月7日開催】

第44回理事会(ZOOM開催)が開催され、各専門委員会の委員長から事業の進捗状況と活動予定について報告がありましたので、要点をご報告いたします。

質の確保・評価

【認証委員会】

- ・116 施設より申請があり、12月24日認証委員会にて認証審査を予定。協会ホームページで一般の方が見られるよう、広報と認証施設の一覧を掲載したいと考えている。

【緩和ケアデータベース委員会】

- ・施設概要調査：調査項目を約半数に削減し、回答する施設の負担軽減を図る。
- ・緩和ケア病棟の質評価プロジェクト：質のマネジメント委員会と協力し、2025年4月以降に全国の緩和ケア病棟で、患者報告型アウトカム（PRO：Patient Reported Outcome）を活用した質評価プロジェクトを開始予定。

【質のマネジメント委員会】

- ・PROを活用した専門的緩和ケアの質向上システムの開発への協力。
- ・2025年7月に緩和ケア管理者セミナーを、PROの研究成果・自施設評価共有プログラム2本立てで開催予定。

教育支援

【看護師教育支援委員会】

- ・専門的緩和ケア看護師教育プログラム(SPACE-N)：2014年に開始し、10年が経過。COVID-19感染拡大を機に対面開催からオンラインへ移行。今後もオンライン開催の継続を前提に、2026年度、内容の改定作業を行う予定。

【MSW教育支援部会】

- ・年1回MSWセミナーを開催。これまではMSWのみをセミナーの対象としてきたが、今年度は他職種も参加できる形で3月1日に開催。

【多職種教育プログラム開発ワーキンググループ】

- ・多職種のための専門的緩和ケア教育(SPACE-I)パイロット版の開催：各支部から推薦された会員施設（1施設3名）を対象に、12月に大阪会場、1月に東京会場で開催。3月に評価会議を行い、今後の支部での開催を目指して運営方法等を検討。

連携・交流

【在宅緩和ケア委員会】

- ・2025年3月にホスピス型住宅を運営する3社が登壇し、会員と意見交換を行うセミナーを開催予定。

【支部・地域活動支援委員会】

- ・次年度以降はテーマを多職種連携に絞り、取り組み事例の発表やディスカッションを計画。

医療保険・介護保険

【医療・介護保険委員会】

- ・日本緩和医療学会との協働強化のため、学会の健康保険・介護保険委員会より、上野博司先生（京都府立医科大学）、坪田信三先生（松山ベテル病院）に外部委員としてご参加いただくこととした。

2025年度より年会費が変わります

協会の会議などはオンライン開催が多くなり、支出が減少している。一方、会員施設を取り巻く最近の経済状況などを考慮し、正会員の年会費を5万円に戻さず、3万とする。

さらに、年会費の負担が大きい診療所や訪問看護ステーションなど、また個人の準会員については、減額することとした。

▼ 年会費の改定が理事会で承認されたことに伴い、協会細則が下記のように変更となります。

（会 費）

第3条 正会員、準会員、賛助会員は、以下に定める会費を納入しなければならない。

(1) 正会員

- ① 緩和ケア病棟入院料届出受理施設、緩和ケア診療加算届出受理施設、一般病院
30,000円
- ② 診療所、訪問看護ステーション等
20,000円

(2) 準会員

- ① 法人・団体 10,000円
- ② 個人 7,000円

(3) 賛助会員 1口 5,000円（但し、個人会員は1口以上、団体会員は4口以上とする）

2 新入会の会員は入会の期日にかかわらずその年の会費全額を納入する。

日本ホスピス緩和ケア協会では、「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice and Palliative Care Day)」を最終日とした一週間(2024年度は10月6日～12日)を「ホスピス緩和ケア週間」とし、全国の会員、関連団体へ呼び掛け、イベント開催などを通して啓発普及活動を進めています。

第19回目となった本年も、共催3団体(日本ホスピス緩和ケア協会、日本緩和医療学会、日本死の臨床研究会)の会員へ、企画の開催を呼び掛けた他、緩和ケア関連16団体に広報を行ったところ、35の企画登録がありました。

パネル展示やセミナーを中心に、見学会、コンサート、相談コーナー、アピアランスケアコーナーの設置など様々な企画が開催され、中には今回の呼びかけを受けて、初めて緩和ケアの関連イベントを開催したという施設もありました。

参加施設からは、「地域の方々にホスピス緩和ケアの重要性を改めて伝えることができた」、「参加者同士の交流や見学会の必要性を再確認する機会となりました。今後の活動に生かしていきたい」といった報告が寄せられました。

2025年度の「ホスピス緩和ケア週間」は、10月5日(日)～10月11日(土)の一週間を予定しています。

詳細については8月頃にご案内を予定しております。引き続き「ホスピス緩和ケア週間」を通した啓発・普及活動にご協力下さいますようお願い申し上げます。



当日の様子 各企画より提出された写真の一部をご紹介します。

北海道



ミニ講話

【JA北海道厚生連帯広厚生病院】

北海道



緩和ケア病棟見学会

【医療法人東札幌病院】

東京都



ウィッシュツリー

【清瀬・東久留米緩和ケア週間実行委員会※】

神奈川県



地域連携フォーラム

【日野原記念ピースハウス病院】

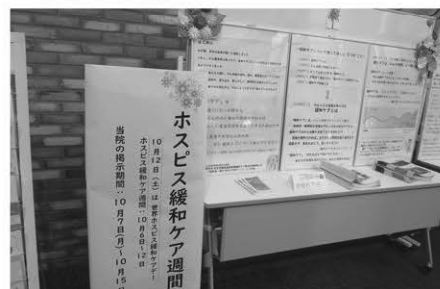
富山県



パネル展示と相談対応

【富山県立中央病院】

岐阜県



パネル展示

【岐阜県立多治見病院】

※ 東京病院、信愛病院、複十字病院、訪問看護ステーションほほえみ、東久留米白十字訪問看護ステーション、NPO法人緩和ケアサポートグループ、東久留米市在宅療養支援窓口、東久留米なごみ内科診療所による共催

企画内容 合計 90 ※1企画内で複数のイベントを開催した場合はそれぞれをカウント

①講演会・セミナー（一般対象）	… 15
②セミナー・研究会等（医療者対象）	… 3
③パネル展示	… 17
④パンフレット・グッズ配布	… 19
⑤相談コーナーの設置	… 9
⑥病棟見学会	… 9
⑦コンサート・演劇等	… 6
⑧上映会（DVDなど）	… 4
⑨体験コーナーの設置	… 3
⑩茶会・カフェ	… 4
⑪遺族会・家族会	… 1

地域別登録状況 合計 35

北海道	… 5	近畿	… 3
東北	… 0	中国	… 2
関東甲信越	… 9	四国	… 1
東海北陸	… 5	九州	… 10

企画登録施設の種別 合計 35

緩和ケア病棟	… 27
緩和ケアチーム	… 2
診療所	… 3
その他（複数施設による共催等）	… 3

京都府



よさこい演舞
【宇治徳洲会病院】

兵庫県



コンサート
【ふくやま病院】

福岡県



見学者へのバルーンアート配付
【みどりの杜病院】

福岡県



在宅ホスピスを語る会
【矢津内科消化器科クリニック】

長崎県



活動紹介・写真展示
【出島病院】

沖縄県



アピアランスコーナーの設置
【沖縄協同病院】



TEN YEARS SINCE
THE RESOLUTION:
HOW ARE WE DOING?
12 OCTOBER 2024
WORLD HOSPICE & PALLIATIVE CARE DAY

世界ホスピス緩和ケアデー

2024年度の世界ホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）は、「Ten Years Since the Resolution: How are we doing?」をテーマとして実施されました。

下記ウェブサイトでは、各国の企画の様子や、緩和ケアデーを記念して開催されたウェビナー、また、WHO のテドロス事務局長から寄せられたメッセージ動画などをご覧いただけます。

<https://thewhpc.org/world-hospice-and-palliative-care-day/>

【世界の企画登録マップ】



オンラインセミナー「地域緩和ケア連携を考える」開催報告

2024年10月20日、支部地域活動支援委員会と在宅緩和ケア委員会の共同企画によるオンラインセミナー「地域緩和ケア連携を考える」を開催しました。本セミナーは、緩和ケア病棟入院料の算定に必要な「連携する医療機関に対する専門的な緩和ケア研修」について、各地の施設における取り組みや地域連携の課題を共有することを目的に企画しました。

冒頭、安保博文先生より「コロナ禍以降の在宅看取りの増加に伴い、ホスピス緩和ケア病棟と在宅医療との連携がますます重要である」とのご挨拶がありました。続いて支部地域活動支援委員会の木村より、112施設を対象としたアンケート調査結果について報告し、約93%の施設が勉強会や見学を通じて他医療機関との交流や専門的指導を行っている現状を紹介しました。



◀木村委員長より
セミナー開催の経緯と
アンケート結果の報告

セミナーでは、3つの施設から地域連携の事例発表が行われました。藤田医科大学の臼井正信先生と八事在宅クリニックの川崎俊先生からは、大学病院の緩和ケア病棟と在宅支援診療所の医師が協力し、患者が円滑に在宅と病棟を行き来できる体制についてご紹介いただきました。また、大阪北ホームケアクリニックの白山宏人先生と淀川キリスト教病院の池永昌之先生からは、診療情報の共有項目の調整やお互いの見学研修を通じて相互理解を深めている事例が報告されました。最後に桜町病院の三枝先生からは、地域全体で患者を支える「地域で見る」体制づくりの重要性についてお話をいただきました。

意見交換では、ホスピス緩和ケア病棟での研修が協会の理念である「普及と質の向上」に寄与するものであり、広範な連携が必要であるとの認識が共有され、地域に根ざした看取りの提供についても議論が交わされました。最後に在宅緩和ケア委員会の白山委員長より閉会のご挨拶があり、各地域での緩和ケア連携を一層深めていく意義が確認されました。

報告：支部地域活動支援委員会
委員長 木村祐輔

今後のセミナー開催予定

日本ホスピス緩和ケア協会 の各委員会では、会員を対象とした様々なセミナーをオンライン【Zoom】で開催しています。

テーマ

ソーシャルワーク実践としての
チームビルディングを考える
ーソーシャルワークの視点や存在が
チームを成長させるー

- 対象：正会員・準会員ソーシャルワーカー
及び他職種(医師・看護師・薬剤師・リハビリ・
心理士・事務員等)
- 日時：2025年3月1日(土)13:30～16:00
- 申込期限：2025年2月3日(月)
- 受講料：1,000円(受講証を発行いたします)
- 主催：日本ホスピス緩和ケア協会
MSW教育支援部会



【案内チラシ】



【申し込みフォーム】



テーマ

ホスピス型住宅との連携を考える
～現場の状況や実践を知り、深める～

- 対象：正会員・準会員(職種問わず参加可能です)
- 登壇施設：ファミリー・ホスピス株式会社
株式会社シーユーシー・ホスピス
暮らす看護ホスピスもかの家
各施設の概要、実践、取り組みの発表と会員との意見交換等
- 日時：2025年3月23日(日)13:00～16:00
- 申込期限：2025年3月3日(月)
- 受講料：無料
- 主催：日本ホスピス緩和ケア協会 在宅緩和ケア委員会



【案内チラシ】



【申し込みフォーム】



事務局通信

2024年7月の総会以降、下記の通り入会・会員の区分変更がありましたので、ご報告致します。

- ★緩和ケア病棟入院料届出受理施設
- ☆緩和ケア診療加算届出受理施設
- 一般病院 / ◎診療所

【正会員：新入会】

- ★千葉医療センター（千葉県千葉市）
- ★一宮西病院（愛知県一宮市）
- ★大阪暁明館病院（大阪府大阪市）
- ★東大阪病院（大阪府大阪市）
- 谷田病院（熊本県上益城郡）
- 西日本病院（熊本県熊本市）
- ◎やまと在宅診療所 名取（宮城県名取市）
- ◎さつきホームケアクリニック（栃木県宇都宮市）

【正会員：施設基準届出による区分変更】

- ★竹田総合病院（福島県会津若松市）
- ★成田記念病院（愛知県豊橋市）

【準会員法人：新入会】

- ・埼玉福祉事業協会（埼玉県さいたま市）
- ・あそか病院（東京都江東区）

【準会員個人：新入会】

- ・内田 浩稔（福岡県）
- ・岡本 禎晃（福井県）
- ・山上 睦実（東京都）
- ・菅野喜久子（宮城県）
- ・徳野美也子（大阪府）
- ・蔭山 弘子（千葉県）
- ・二瓶 恭子（宮城県）
- ・片見 明美（栃木県）

【賛助会員：新入会】

- ・佐藤 明紀（北海道）
- ・李 楊（東京都）
- ・二之宮美由紀（鹿児島県）

施設概要・利用状況調査

ご協力をお願い

【調査項目が2025年4月調査より従来の約半分になります】

本調査は、毎年4月に正会員の緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、診療所等を対象にオンラインで実施しています。

この度、会員施設の作業負担の軽減のため、緩和ケアデータベース委員会で調査項目の見直しを行い、従来の約半分程度に調査項目を調整いたしました。2025年4月に調査依頼書の郵送を予定しておりますので、本調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご寄付について

当協会では、事業に賛同し応援して下さいる個人や団体からのご寄付を受け付けており、前回報告以降、下記の方々よりご寄付をいただきました。ご厚情に心よりお礼申し上げます。

愛知県三河緩和医療研究会

- 原 知克様（東京都）
- 榎本香咲花様（神奈川県）
- 梶原 利幸様（愛媛県）
- 匿名 希望様（福岡県）

ご寄付の方法につきましては、協会事務局までメールまたはお電話でお問い合わせ下さい。関係資料をお送りいたします。

【直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです】

三菱UFJ銀行 新富町支店

口座：普通預金 3677396

名義：日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真泰夫

会員動向

2025年1月1日現在

地域別	正会員				準会員		賛助会員		合計
	病棟	チーム	一般病院	診療所	法人	個人	法人	個人	
北海道	22	3	0	6	3	10	0	4	48
東 北	26	1	2	10	3	5	0	1	48
関東甲信越	103	20	7	30	11	34	4	8	217
東海北陸	45	3	3	9	2	12	0	2	76
近 畿	66	5	0	11	4	20	0	2	108
中 国	33	0	3	2	2	3	0	0	43
四 国	20	2	3	2	0	2	0	1	30
九 州	82	3	3	15	3	12	0	2	120
合 計	397	37	21	85	28	98	4	20	690
	540				126		24		

年度途中で新たに施設基準を届け出された施設、移転、運営法人の変更などがあった施設は、事務局へご連絡下さい。